



平成26年7月28日

各位

上場会社名 株式会社タケエイ
 代表者 代表取締役社長 山口仁司
 (コード番号 2151)
 問合せ先責任者 取締役 専務執行役員 興石 浩
 (TEL 03-6361-6820)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,800	850	780	400	17.42
今回修正予想(B)	12,800	850	780	2,700	117.43
増減額(B-A)	1,000	0	0	2,300	
増減率(%)	8.5	0.0	0.0	575.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	12,670	1,608	1,498	799	40.71

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,000	2,600	2,450	1,310	57.05
今回修正予想(B)	28,500	2,600	2,450	3,610	156.97
増減額(B-A)	3,500	0	0	2,300	
増減率(%)	14.0	0.0	0.0	175.6	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	24,890	3,239	3,069	1,601	75.74

(注)当社は平成25年7月1日付で、普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。このため、1株当たり当期純利益は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

修正の理由

<子会社化した富士車輛株式会社の影響>

平成26年6月20日付で子会社化した富士車輛株式会社(以下「富士車輛」)につきまして、平成26年6月30日時点の資産状況の確認がほぼ終了した結果、当社連結資産の組み入れに際して、「負ののれん発生益(特別利益)」2,400百万円を計上する見込みとなりました(平成27年3月期第1四半期連結業績に計上予定)。

あわせて、同社の今後の業績について分析を行い、平成26年7月1日から平成27年3月31日までの売上高予想3,500百万円(うち7月1日からの3か月で1,000百万円)のみ当社連結業績予想に計上しております。

なお、富士車輛の子会社化については、平成26年5月15日付「富士車輛株式会社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ」、平成26年6月20日付「(開示事項の経過報告)富士車輛株式会社 全株式取得完了のお知らせ」をご参照ください。

<平成27年3月期第1四半期連結業績見込み>

現在精査中の当社平成27年3月期第1四半期連結業績については、売上高5,272百万円(前年同期比19.5%減)、営業利益325百万円(同62.6%減)、経常利益295百万円(同64.2%減)で着地する見込みです。期初想定予算を上回る結果となりましたが、東日本大震災災害廃棄物処理再資源化事業が一時的に大きく収益貢献した前年同期と比較すると減益となっております。

四半期純利益は、富士車輛の連結化に伴う負ののれん発生益を加味し、2,503百万円(同465.3%増)で着地する見込みです。

<平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想・通期連結業績予想>

富士車輛の子会社化による影響を踏まえ、当社連結業績予想を、表のとおり修正いたします。

新規連結を除く既存部分の業績予想については、年度利益に与える影響のうち、第1四半期決算の割合がかなり小さくなる傾向があることから、今回見直しを行いません。

なお、配当予想につきましては、前回予想と変更ありません。

以上